

平成27年度 事業計画について

1 基本方針

高年齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献する組織であるシルバー人材センター（センター）に対する期待が高まってきています。健康で働く意欲のある高年齢者の方々が社会の担い手として活躍できるよう就業の確保・提供を行うセンターの役割は、益々重要なものとなっています。

センターに対する地域社会の様々な需要に応え、センターの存在意義を高めるために会員の増強、就業機会と受注量の拡大に努めると共に、質の高いサービス提供の推進や各種職種の後継者育成に努めます。

また引き続き、健全な財政運営の確立に向けて効率的な組織、資金運営、経費節減等に努めます。

営利を目的とせず社会公共の利益を図ることを目的とする公益社団法人としての務めを会員、役職員が共になって果たすよう努めます。

2 事業計画

(1) 会員目標数

正会員数 1,150人以上

会員数は、平成24年度に前年度より37人減少して1,170人となり、平成25年度もさらに減少し1,094人、平成26年度は1,038人の見込みという状況です。

会員の減少傾向に歯止めがかかっていない状況を改善し、会員の増強に取り組みます。イベント等を通じた宣伝活動、賛助会員企業等への広報活動などの取組みを積極的に行います。また、社会の高齢化が進む中、福祉・家事援助サービス事業の拡充を図るため、女性会員の増強に取り組みます。

「一人が一人の仲間を増やそう」を合言葉に、会員、役員、職員が一体となって会員の増強に努めます。

(2) 受注件数目標

受注総件数				10,500 件
内訳	公共	10.0 %		1,100 件
	民間	90.0 %		9,400 件
		(月平均)		875 件

(3) 受注契約目標金額

契約総金額				528,000	千円
内訳	公共	38.8	%	205,000	千円
	民間	61.2	%	323,000	千円
	(月平均)			44,000	千円

(4) 就業延人員目標

就業延人員				99,000	人日
	(月平均)			8,250	人日

(5) 就業率目標 82.5 %

(6) 組織体制の強化

公益社団法人としてシルバー人材センター事業をより一層充実したものとするため、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、会員の自主的な運営が図れる体制を推進し安定的な組織の確立に努めます。このため、次により組織体制の強化を図ります。

- ・社会経済情勢に対応した魅力ある事業の開拓
- ・会員の就業ニーズと仕事紹介のミスマッチの解消
- ・事業量の拡大と質の高いサービスの提供
- ・職種別の後継者育成

(7) 普及啓発活動の推進

地域社会における、シルバー人材センター事業の意義や理念、仕組み、活動内容等を広く周知し、センターに対する理解と支援が得られるよう、次の普及啓発活動を推進し健康で働く意欲のある高齢者の加入を促進します。

- ・入会説明会（毎月2回、原則第2・第4火曜日）の開催
- ・会報「シルバー尾道」の発行（年2回）
- ・市広報への掲載依頼と報道機関への情報提供
- ・リーフレット、チラシ等の配付
- ・社会奉仕活動の推進
- ・「シルバーの日」の活動の推進

- ・尾道みなと祭等のイベントへの参加
- ・一般市民対象の各種講習会の開催
- ・ホームページの内容の充実

(8) 就業機会の提供拡大

公共団体、民間企業、一般家庭及び関係団体等に対し、シルバー人材センターが果たす社会的意義について理解を得るとともに、就業機会の拡大、未就業会員の就業に向けて、会員の希望に応じられるよう多様な就業機会の開拓に努めます。

- ・技能講習等を実施し、技術の向上、サービスの質の向上を図ります。
- ・女性会員の福祉・家事援助サービス分野への就業の推進を図ります。
- ・接遇研修、技能研修の充実により、資質向上と就業機会の拡大を図ります。
- ・「共働・共助」の意識の浸透を図り、ローテーション就業、グループ就業等による公平な就業機会の提供に努めます。

(9) 福祉・家事援助サービス

高齢化がますます進行する中、会員の経験・知識・技能を生かし、「福祉の受け手」から「社会の担い手」として地域社会へ積極的に参加できる環境づくりに努めます。

福祉・家事援助サービス事業、子育て支援事業の拡充を図ります。

(10) 独自事業

会員の経験、技能を生かした就業機会の拡大を図るため、既存事業の推進を図ります。

- ・シルバー観光ガイド事業
- ・文学記念室土産品販売事業
- ・刃物研ぎ事業
- ・ソーイングサービス事業
- ・書道教室
- ・新規事業の調査研究

(11) 地域ニーズ事業

平成 26 年度に国の補助事業の企画提案方式事業が地域ニーズ事業に変更となり、事業採択の範囲が拡大されましたが、就業延人員の目標達成や事業収入、国庫補助終了後の事業継続等が条件となりました。

市高齢者福祉課など関係行政機関等と協議し検討を行います。

(12) 一般労働者派遣事業への取組み

適正就業の推進、就業形態の多様化に対応するとともに、国の補助事業である「高齢者活用・現役世代サポート事業（仮称）」が開始となるため、新たな就業機会の確保に向けて一般労働者派遣事業の推進に努めます。ホームページの活用など企業へのPRを実施します。

(13) 研修会、講習会の開催

会員の就業機会の拡大と発注者の信頼に応えるために、各種研修会、講習会等を開催し、技術等の向上や問題解決に努めます。

- ・ 地区総会
- ・ 役職員、会員研修会
- ・ 安全運転講習会
- ・ 植木剪定講習会
- ・刈払い機取扱実技講習会
- ・ 観光ガイド研修会
- ・ 筆耕技術研修会
- ・ 福祉・家事援助サービス等研修会

(14) 会員の福利厚生活動

会員相互の親睦と連帯意識の高揚、会員の健康管理を推進します。

- ・ 会員傷害保険及び損害賠償保険の加入
- ・ 会員互助会活動をセンターの福利厚生事業として実施

(15) 安全・適正就業の推進

会員の安全就業が最重要事項であり「安全はすべてに優先する」を基本に、事故ゼロを目指して、安全就業意識の高揚、安全・適正就業の徹底を推進するため、次の事業等に取り組めます。

- ・ 安全就業標語の募集と安全就業標語選考会の開催
- ・ 安全就業推進大会の開催
- ・ 安全委員会の開催

- ・安全講習会の開催
- ・危険箇所等就業現場における確認と注意事項の徹底
- ・就業前のミーティングの徹底
- ・安全装備着用の徹底
- ・安全・適正就業心得 10 項目の徹底
- ・就業現場のパトロールによる指導と安全意識の高揚

(16) 高齢者職業紹介事業

平成 26 年 10 月より無料職業紹介事業が有料職業紹介事業としてスタートしましたが、無料職業紹介事業を含めて過去の事業実績はありません。需要に対応できる体制を継続していきます。

(17) 研修活動

シルバー事業に関する理解を深め、事業活動の充実・発展を図るため、各種研修会に参加します。

- ・全国シルバー人材センター事業協会総会及び研修会等への参加
- ・中国ブロック、県連合会の研修等への参加
- ・その他、研修会等への参加

(18) 事務局体制の充実・強化

事務局職員は、自らの使命と役割を認識し、事務能力の向上や能率アップ、課題解決に積極的に取り組みます。

- ・職員会議を開催し、課題認識を統一して問題解決に取り組みます。
- ・研修会等に参加し、事務能力の向上を図り、活力ある事務局体制の構築に努めます。

(19) 事業運営の健全化

補助金の増額要望活動に取り組むとともに、受注の拡大による財政基盤の強化と運営経費の節減を図り、財政の健全化に努めます。

(20) 関係機関・団体との連携強化

関係行政機関、広島県シルバー人材センター連合会、備後地区シルバー人材センター連絡協議会並びに県内の各センターとの連携を密にし、シルバー事業を円滑に推進し、

センターの充実発展に努めます。

平成27年度の事業計画目標数値

	平成27年度計画	平成26年度実績
会員数	1,150人	1,038人
男性	780人	715人
女性	370人	323人
就業率	82.5%	85.2%
就業実人員	950人	884人
受託事業収入		
公共	205,000,000円	209,536,532円
企業	167,000,000円	148,673,224円
家庭	154,500,000円	151,684,802円
独自事業	1,500,000円	2,596,919円
計	528,000,000円	512,491,477円
企画提案方式事業	869,000円	1,551,000円
指定管理事業	17,798,000円	17,584,197円
一般労働者派遣事業	3,000,000円	649,361円
合計	549,667,000円	532,276,035円
受注件数	10,500件	10,358件